

導入予定サービス名（システム名）	電子審査システム機能
------------------	------------

<p>■説明・注意事項</p> <p>(1) 「必須」欄の区分について ○：当市において必須とする機能、性能 -：当市において任意の機能、性能</p> <p>(2) 「回答」欄の選択肢について 実現可能：実現でき、かつ、提案見積価格に含まれる場合 同種機能：要件で示す内容と同等又はそれ以上の機能を有し、かつ、提案見積価格に含まれる場合 運用支援：システムの機能としては実現不可であるが運用支援により同等の結果を提供でき、かつ、提案見積価格に含まれる場合 実現不可：実現できない、又は、実現できるが提案見積価格に含まれない場合</p> <p>(3) 「同種機能」と回答した項目について、要件で示す内容との相違点を「相違点・代替案」に記載すること。</p> <p>(4) 「運用支援」と回答した項目について、提案する詳細な内容を「相違点・代替案」に記載すること。なお、依頼から納品までに必要な期間や1年あたりの実施上限回数などがあれば明記すること。</p> <p>(5) 無回答の項目は「実現不可」とみなす。</p>	
---	--

No.	分類	項目	要件	必須	回答	相違点・代替案
基本要件						
1	サービス提供環境	機器環境	利用者及び管理者の操作機器環境（PC）として、指定する機器環境に対応すること。 ■既存の職員端末 ・OS：Windows10 LTSC / 10 Pro / 11 Pro ・CPU：Intel Core i5 以上 ・メモリ：8～16GB ・ブラウザ：Microsoft Edge（Chromium Edge） ・LWAN回線：100Mbps（ベストエフォート） 利用環境においては、MSIインストーラ等によるインストールを必要としないこと。		○	
2		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。 ・LWANで動作すること。 ・通信経路においては暗号化を行うこと。		○	
3		データ管理	データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。 ・バックアップ環境：指定した場合を除き全て日本国内であること。 ・サイクル（間隔）：日次 ・バックアップ対象：データ消失時に確実な復旧が可能な方式とすること。 ・保有世代数（保有期間）：3世代（3日間分）以上 ・復旧期間：1営業日以内		○	
4			データに対して、第三者による不正アクセスや改ざん、無断複製がないよう対策を講ずること。		○	
5		サービス提供時間	本サービスは、原則として当市職員の業務時間内に利用可能であること。 なお、計画的なメンテナンス時間を除き、必要に応じて業務時間外の利用を妨げない構成とすること。		○	
6	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や配色等については、当市職員が業務中に利用することを前提とし、直感的に操作できる分かりやすい画面構成とすること。		○	
7			利用者及び管理者双方にとって、業務効率を損なわない操作性が確保されていること。 さらに、画面遷移、検索及び情報表示等において、業務に支障をきたさない十分な応答性を有すること。		○	
8	情報セキュリティ	システムログ	申請データの受付から審査、承認又は差戻し等に至る一連の処理について、行政判断の過程を後から確認できるよう、操作履歴及び処理結果をログとして取得し保存すること。取得するログには、審査対象、処理日時、処理区分、承認又は差戻し等の処理結果、操作実行者等を含めること。 なお、自動判定処理又はシステム内部処理に関する情報については、当該処理の実施状況が確認可能な範囲で記録するものとする。		○	
9		アクセス・操作ログ	管理システムのアクセスログ・操作ログを取得すること。また、インシデント発生時の調査や対応のため、ログは5年以上取得すること。		○	
10		不正プログラム対策	システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じるとともに、各システムに関連するソフトウェアについて修正モジュール等が提供された場合には、適用の要否を判断し、必要な対応を行うこと。		○	
11			システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること。		○	
12		データセンター	本サービスは、日本国内に設置されたデータセンター又はクラウドサービス基盤上で提供されること。 当該基盤は、インターネット領域からのアクセスを想定し、災害時を含めた安定的なサービス提供を可能とする可用性及び冗長性を有し、障害発生時においても速やかな復旧が可能な体制が確保されていること。 また、当該基盤においては物理的及び論理的なセキュリティ水準が適切に確保されていることとし、受託者は、情報セキュリティマネジメント体制について、ISO/IEC 27001（JIS Q 27001）又はこれと同等以上の認証若しくは管理体制を有すること。 なお、クラウドサービス基盤を利用する場合は、ISMAPクラウドサービスリストに登録されたサービスを利用することを基本とし、これにより難しい場合は、同等のセキュリティ水準を客観的資料により示すこと。		○	
13	データ引継ぎ・初期設定		運用開始にあたり、審査対象手続の定義、判定条件、ワークフロー及び各種連携に係る設定等の初期設定を行うこと。 なお、オンライン申請システム、中間DB、基幹システム等との連携に必要な設定情報又は参照データについては、当市の指示に基づき適切に整備すること。		○	
14	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び当市が登録した情報のうち、当市の情報管理権限を有する情報（当市が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し当市に提供可能とすること。		○	
15		保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、当市が提供を希望する保有データを提供ののち、速やかにシステムから消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすること。また、データ消去後に、そのエビデンスを提出すること。		○	
16	統計機能		システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計もしくはデータ出力する機能を有すること。		○	
17	関係法規制への対応		サービスの稼働、運用・提供に係る関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。		○	
18	アカウント管理	管理情報	職員用アカウントを登録できること。		○	
19		アカウント設定方法・認証方法	登録できるユーザ数は無制限であること。		○	
20			I Dとパスワードによるログイン認証機能を有していること。		○	
21			既定回数の認証失敗でアカウントをロックする機能を有していること。		○	
22			管理者によるパスワードのリセット又は再設定ができること。		○	
23		アクセス制御	職員用アカウントについて、所属、役割等に応じたグループ設定が可能であること。 グループごとに、申請データの参照、審査、承認、差戻し等の操作権限を設定できること。		○	
24		利用規模への対応	利用者数の増減や組織改編等に柔軟に対応可能な構成であること。		○	

機能要件（利用者向け機能）						
No.	大項目	機能名	要件内容	領域	必須	

25	マスタ管理	対象手続マスタ管理機能	電子審査の対象となる手続をマスタとして登録、更新及び管理する機能。	LGWAN	○		
26	申請データ管理	申請データ受領機能	オンライン申請システム等から申請データを受領し、電子審査用データとして取り込む機能。(オンライン申請フォーム作成は対象外)	LGWAN	○		
27	申請データ管理	申請データ正規化機能	受領した申請データについて、項目構成及びデータ形式を電子審査用に正規化する機能。	LGWAN	○		
28	申請データ管理	重複・不備検知機能	申請データの重複を検知する機能。	LGWAN	○		
29	申請データ管理	住民データ連携機能	中間DB等を介して自動で住民データを取得する機能	LGWAN	○		
30	審査処理	自動突合(形式審査)機能	申請内容と住民データを自動的に突合し、形式審査を実施する機能。	LGWAN	○		
31	審査処理	突合例外処理機能	突合不能又は不一致の場合に、差戻し、保留又は手動審査へ分岐する機能。	LGWAN	○		
32	審査処理	審査ルール設定機能	手続ごとに内容審査の判定条件又は確認文言を設定する機能。	LGWAN	○		
33	ワークフロー管理	審査ワークフロー管理機能	受付から完了までの審査工程を状態遷移として管理する機能。	LGWAN	○		
34	審査処理	手動審査・補正機能	自動判定結果を職員が確認し、必要に応じて補正又は上書きする機能。	LGWAN	○		
35	ワークフロー管理	差戻し・追加資料管理機能	申請者への差戻し又は追加資料提出依頼の状態を管理する機能。	LGWAN	○		
36	審査結果管理	審査結果管理機能	承認、否認又は差戻し等の審査結果を管理する機能。	LGWAN	○		
37	データ連携	基幹系連携機能	審査結果を基幹系システムへ連携するためのデータ出力又はAPI連携を行う機能。 基幹システムに対して必要な情報の登録又は更新を行うことができること。	LGWAN	○		
38	データ連携	再送・リトライ制御機能	基幹系連携等において失敗した処理を再送又は再実行する制御機能。	LGWAN	○		
39	可視化・分析	審査進捗・滞留可視化機能	審査状況及び滞留案件を一覧で把握できるよう可視化する機能。	LGWAN	○		
40	可視化・分析	処理実績分析機能	処理件数、処理時間又は差戻し理由等を集計・分析する機能。	LGWAN	○		
41	セキュリティ・データ管理	操作ログ・監査ログ管理機能	操作履歴及び審査履歴を監査目的で取得・保存する機能。 操作ログ及び審査履歴ログは、監査及び検証目的のため、5年以上保存可能であること。	LGWAN	○		
42	セキュリティ・データ管理	権限管理機能	職員の役割に応じて、参照及び操作権限を制御する機能。	LGWAN	○		
43	データ連携	外部システムAPI連携機能	CRMシステム、オンライン申請システム等の外部システムとAPI・RPA等により連携できる機能。	LGWAN	○		
44	審査処理	審査対象外判定機能	自動審査の対象外となる申請について、職員確認前提で自動審査対象外として判定・管理できる機能。	LGWAN	-		
45	セキュリティ・データ管理	データ保存期間管理機能	申請データ及び審査履歴について、保存期間を設定及び管理できる機能。	LGWAN	-		
46	データ連携	連携AP	基幹系システムが出力する機能別連携仕様のcsvファイルを加工し、中間DBへ連携する機能。	マイナンバー	○		